

フードビジネス研究会 (FABIO) のご案内 — 第1回 6名限定小規模ゼミナール —

- 日時 令和3年12月15日(水) 18時30分～20時30分
- 会場 コロンブス・ハウス(1階は、ふるさと往来クラブ そば酒房「福島」)
東方通信社ビル2階 ミーティングルーム(内装は総輪島塗)
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-14-4
(東京メトロ千代田線新御茶ノ水駅/都営新宿線小川町駅/丸の内線淡路町駅 出口B7(徒歩5分))
- 定員 6名(定員になり次第締め切ります)
- 申込 氏名、連絡先電話番号およびメールアドレスを記載の上、FAX(029-875-3402)にてお申し込みください。
- 参加費 5,000円(会員は2,500円)講演後には、地方の旬の食材を用いたお料理とお酒をともにしながら講師を交え少人数限定の意見交換をする楽しみながらも充実したゼミナールです。月刊誌「コロンブス」を謹呈。
- 話題 「硫黄研究の可能性～ようこそサルファーワールドへ～
- 講師 大津 厳生(筑波大学准教授 生命環境系生物機能科学専攻応用微生物学研究室/セルフメディケーション推進特別研究事業研究室)



ヒトを含む動物は決して産生できない有機性硫黄化合物(含硫アミノ酸:メチオニンなど)は、必須で主要なミネラルで食事を通して摂取しなければならない。動物はそれを合成できる微生物・植物に完全に依存している事実。また、生物種間を超えて食物連鎖的に濃縮される事実。これら「硫黄」は全生物に含まれ、その酸化還元状態を分析するだけで品質・健康チェックを見ることも可能な事実(?)。そのような事実からこれからの未来、社会、地球がどうなっていくのか、一緒に考えませんか。

